

第1回 学校運営協議会

日時：令和4年4月21日(木)
13:30～16:00

場所：麓玉小学校 会議室

学校教育目標 「自ら考え みがき合う子」

学校経営目標 「なりたい自分・よりよい学校地域を思い描き、

主体的に考える力を育てる学びの創造」

次第

司会：会長 教頭

- 1 校長挨拶

- 2 学校運営協議会委員の任命（校長）

- 3 自己紹介(裏面参照)

- 4 授業参観 13:35～14:05

- 5 会長選出及び副会長指名（教頭）

- 6 熟議 （司会：議長） 14:10～16:00
 - (1) 学校経営構想の説明（校長）

 - (2) 学校経営構想承認（会長）

 - (3) 学校の現状について（校長）

- 7 今後の予定 15:50～16:00
 - (1) 学校運営協議会の計画（教務）

 - (2) 学校行事の予定（教務）



浜松市が目指す子供の姿

- 自分らしさを大切にする子供
- 夢と希望を持ち続ける子供
- これからの社会を生き抜くための資質・能力を育む子供

鹿玉中学校区の目指す子供像

- 心を磨く
- ～認め合い共によさを磨き合う子供～

保幼小中の連携



学校教育目標

自ら考え みがき合う子

学校経営目標

～なりたい自分・よりよい学校地域を思い描き、主体的に考える力を育てる学びの創造～

やさしい子

- 自分や友達のよさが分かる子
- やさしい言葉遣いをする子

かしこい子

- 基礎基本を身に付けた子
- 自分の考えを相手に分かるように伝え、相手の考えを自分の考えに生かす子
- 学習したことと身近な生活とのつながりを見付けられる子

たくましい子

- 目標に向かってチャレンジしたり、粘り強く取り組んだりする子
- 心と体の健康を考えて行動する子

主体的・対話的で深い学び

教育の情報化

カリキュラム・マネジメント

キャリア教育

かかわる力
相手の思いを受け止め、自分の考えを伝える

見つめる力
自分のよさを見付け、生活に生かす

チャレンジ力
目標や課題に向かって、解決のために粘り強く取り組む

つなげる力
なりたい自分のイメージを描く



発達支援教育の理念を根幹にすえた教育（児童理解と授業改善）

家庭地域との連携協働

～社会に開かれた教育課程～
よりよい学校教育を通じて、よりよい社会を創る

学校運営協議会

家庭

PTA
メタセコイア
あらっこ応援隊

地域

まちおこしの会
自治会
シニアクラブ
地域安全推進委員

参観会・学校便り・学年便り・保健便り・ブログ

I 学校運営

(はじめに)

これから子供たちが生きていく未来は、予測困難な時代だと言われている。しかし、その社会の変化に受け身で対処するのではなく、主体的に向き合って関わり合い、感性を豊かに働かせながら、一人一人が自らの可能性を最大限に発揮し、よりよい社会（本校では持続可能な社会と押さえる）と幸福な人生を自ら創り出していける力の基礎を身に付けられるようにすることが学校の使命だと言える。そこで、以下のことを押さえ、学校教育活動を展開する。

・「浜松市 SDGs 未来都市計画（2021～2023）」で掲げている3つの強み（温暖な国土縮図型都市・やままいか精神・多様性と共助にあふれた社会）を押さえつつ、今学習していることが、将来の自分や社会につながっていることを意識した教育活動を進めることで、一人一人に合ったキャリア発達を促していく。

・はままつの教育が目指す子供の姿（自分らしさを大切にする子供・夢と希望を持ち続ける子供・これからの社会を生き抜くための資質・能力を育む子供）、及び麓玉中学校区の目指す子供像（心を磨く ～認め合い共によさを磨き合う子供～）を押さえ、保幼小中との連携を踏まえ教育実践をしていく。（未来創造への人づくり）

・149年の歴史と伝統によって培われた校風と精神を継承するとともに、麓玉小学校の学校文化の創造と発展、「不易と流行」のバランスをとり、家庭や地域と連携・協働して特色ある学校づくりをしていく。

1 学校教育目標

「自ら考え みがき合う子」



「自ら考え みがき合う子」には、子供たちが、全教育活動を通して、心・頭・体を自分で磨き、互いに磨き合い、「やさしく、かしこく、たくましい」子になってほしいという願いが込められている。そして、個別最適な学びと協働的な学びの中で、子供たち一人一人が切磋琢磨していく姿をイメージしている。

本年度は、「やさしい子」「かしこい子」「たくましい子」を以下のように押さえ、知・徳・体のバランスの取れた「生きる力」を育成していくことを目指していきたい。

◎「やさしい子」の視点から見た子供の姿

自分のよさが分かって活動を進め、相手の立場に立って行動する子

〈重点目標〉

- ・自分や友達のよさが分かる子
- ・やさしい言葉遣いをする子

◎「かしこい子」の視点から見た子供の姿

主体的に学習に関わり、仲間との学び合いを通して、将来の自分や社会とのつながりを意識して学習する子

〈重点目標〉

- ・基礎基本を身に付けた子
- ・自分の考えを相手に分かるように伝え、相手の考えを自分の考えに生かす子
- ・学習したことと身近な生活とのつながりを見付けられる子

◎ 「たくましい子」の視点から見た子供の姿

目標に向かってチャレンジしたり、粘り強く取り組んだりする子
心と体の健康を考えて行動する子

〈重点目標〉

- ・ 目標に向かってチャレンジしたり、粘り強く取り組んだりする子
- ・ 心と体の健康を考えて行動する子

2 学校経営目標

～なりたい自分・よりよい学校地域を思い描き、

主体的に考える力を育てる学びの創造～

学校経営目標「なりたい自分・よりよい学校地域を思い描き、主体的に考える力を育てる学びの創造」を達成するためには、学校は全教育活動を通して、子供たちに対し、

- ①今学習していることが、将来の自分や社会につながっていることを意識させること
- ②学習対象に対して、主体的に学べる環境を作っていくこと

の2つが必要と考える。そして、この①②の学びを実現するため、4つの柱を示すこととする。

○ 校内研修の充実

基礎的・基本的な知識及び技能を確実に定着させるとともに、学習内容を人生や社会の在り方と結び付けて深く理解し、これからの時代に求められる資質・能力を身に付け、生涯にわたって主体的に学び続けるようにするためには、学習の質を高める事が必要である。このような学びを実現するための視点として、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進することが求められる。

また、はままつの教育における目指す子供の姿、本校の学校教育目標、そして「主体的・対話的で深い学び」を実現していくためには、キャリア教育の充実も欠かせない。特別活動を要としながら、総合的な学習の時間や道徳科、各教科における学習等の中で、基礎的・汎用的能力を育成していきたい。

そして、学習を進めていく中で、ICTを有効活用し、子供たちの興味・関心を高め、学習内容の理解を深めるとともに、協働的な学びを発展させ、学習活動の充実を図っていきたい。

さらに、目標と指導と評価の一体化を図り、育成を目指す資質・能力を明確にしたうえで、資質・能力が身に付くように指導すること、資質・能力が確実に身に付いたかを評価すること、評価を指導改善、学習改善につなげることも重要である。

○ 一人一人のよさを見付け、発揮させることができる学級づくり・学校づくり



学級経営を行う上で最も重要なことは、学級の児童一人一人の実態を把握すること、すなわち確かな児童理解である。学級担任の日頃のきめ細かい観察を基本に、面接など適切な方法を用いて、一人一人の児童を客観的かつ総合的に理解することが大切である。

学校生活の中で、児童の気持ちを理解しようとする姿勢や共に歩む態度、授業・行事等における児童の充実感・成就感を生み出す指導、児童の特性や状況に応じた的確な指導と不正や反社会的行動に対する毅然とした態度などは、児童との信頼関係を築く上で極めて重要であり、教育的愛情を

もって接していくことが求められている。

また、児童相互の好ましい人間関係を育てていく上で、学級風土を支持的な風土にしていくことが大切である。児童が学級の中で伸び伸びと過ごし、安心してよいところを伸ばし、自己肯定感をもちながら日々の学校生活を送ることができるようにすることが重要である。

支持的な風土の学級の中で、学級担任が児童一人一人の興味や関心、発達や学習の課題等を踏まえ、よさを発揮させる場をつくり、児童が生き生きと笑顔で過ごせる学級経営を目指したい。そして、子供たちが学びを通して「心の居場所」を実感できるようにし、今日よりも明日、明日よりも明後日へと、よりよく生きようとする活力が生まれる場としての学校でありたい。

○ 目指す子供像を実現するために必要な保護者地域との連携・協働（市民協働による人づくり）

教育課程を通して、これからの時代に求められる教育を実現していくためには、「よりよい学校教育を通して、よりよい社会を創る」という理念を学校と保護者・地域とが共有し、必要な学習内容をどのように学び、どのような資質・能力を身に付けられるようにするのかを明確にしながら、保護者・地域との連携及び協働によりその実現を図っていくという、社会に開かれた教育課程の実現が重要となる。

学校は、地域とともにある学校づくりを目指し、学校運営協議会において、学校運営の基本方針や目指す子供の姿、学校の課題を共有した上で、教育活動実施に必要な人的または物的な体制を整えていきたい。さらに、カリキュラムマネジメントの観点から、保護者・地域の実態を生かし、学校教育目標の実現に必要な教育の内容等を教科横断的な視点で組み立てていくことや教育課程の実施状況を評価してその改善を図っていくことも重要である。

○ 相談できる・高め合える職員集団

学校教育目標の具現のためには、職員が「チーム亀玉小」として、仕事に対するベクトルが同じ方向を向いていることが大切である。職員が同僚性を発揮し、よりよい学校、授業を作り上げるという意識で臨みたい。また、子供や保護者、地域の方の信頼を受け、協働していくことも必要である。「学校は『ある』ものではなく、『つくる』もの」を合い言葉に、学校・家庭・地域が知恵を出し合い、教育活動を進めていきたい。

「教育は人なり」と言われる。一人一人の職員は「教育のプロフェッショナル」としての力量を高め、子供や保護者に信頼されるよう研修に励むことが大切である。それとともに、学校経営参画意識をもち、連携しながら「チーム亀玉小」としての組織力を発揮していく必要がある。

職員は学校教育目標と学校経営目標に照らして自己目標を明確にして、自分の持ち味や専門性を生かし、また自主性や創造性を発揮しながら、意欲と責任をもって教育活動に取り組むことが大切である。そして、職員自身が率先垂範・師弟同行の姿勢で子供たちとかかわったり、亀玉小学校で働く意味を自覚したりすることで、職員にとってやりがいがあり、この学校に勤めていたいと思えるような学校でありたい。

題字になっている「子供を笑顔で迎え、子供を笑顔で帰そう」は、以下のような思いを込めています。

職員一人一人が、教育的愛情を持ち、授業力やコミュニケーション力（察する力、聞く力、伝える力など）などの専門性を磨いていくことで、教師力が向上していきます。そして、それぞれが身に付けたその教師力を結集させていくことで、職員集団は、互いに高め合う集団となっていく。その職員集団が創り出す学びこそが、**亀玉小の姿(学校風土)**となります。このような**職員の生き生きとした姿**（朝、職員が子供を迎える姿）とその職員に見守られ、**充実した一日を過ごした子供の姿**（帰りの姿）を「笑顔」に置き換えて、表現しています。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、本校の学校教育目標は、「自ら考え みがき合う子」です。この学校教育目標の具現化のため、職員一人一人が、目標としている子供像を共有し、その上で教育活動（授業・行事・分掌等）を進めていくことが大切です。そのために、以下のことを念頭において、職務を遂行していきたい。

1 「心も体も健康に」をモットーに 「チーム亀玉小」

- ① 一期一会…大切にしたい仲間との出会い（子供との出会いも…）
- ② 相談できる、高め合える、本気で向き合える学年集団・職員集団（気軽に声かけできる、よさを出し合い学びを創造できる、ピンチの時こそ力を結集できる集団）
- ③ ワーク・ライフ・バランスを意識したライフスタイルが共有できる学年集団・職員集団

2 教職員としての志を持とう（「初心忘れるべからず」「たゆまぬ自己改革」）

- ① 誠実さ（ ） 謙虚さ（ ）
感謝（ ） 向上心（ ）
- ② 全体の奉仕者としての自覚、職務上・身分上の義務の自覚
- ③ 教師は最良の環境であることを自覚する。（服装・言葉遣い・階段歩行など）



3 新型コロナウイルス感染症対策の継続（油断は禁物）

- ① 日々の感染症対策を確実に遂行した上で、子供のためになる活動（行事等）は、創意工夫し、実践していけるよう最善の努力をする。（提案する）

4 行事等を通してメリハリのある1年間を！（どんな力をどのように身に付けさせるか明確に）

- ① 1学期…スポーツフェスティバル 2学期（前）…委員会活動（主体性重視）
2学期（後）…持久走記録会 3学期…あらかこ学習発表会
学年のイベント、行事、校外学習等…随時

※ 子供の意識を外へ！（問題行動を起こさせない）
よさを発揮できる場を創る！（自己肯定感の高まり）

組織とは、その成果を通じて、社会に貢献すること ドラッカー
～組織は存在そのものに価値があるのではなく、その成果に価値がある～

令和4年4月8日



鹿っ子だより

浜松市立鹿玉小学校

<学校教育目標> 自ら考え みがき合う子

<http://www.city.hamamatsu-szo.ed.jp/aratama-e/>

学校教育目標「自ら考え みがき合う子」に向かって

令和4年度の新学期がいよいよ始まりました。学校では、子供たちの元気な声が響いています。本年度もよろしくお願いいたします。

さて、本年度も学校教育目標を、「自ら考え みがき合う子」としました。この学校教育目標を達成していくため、目指す子供像を、「やさしい子」「かしこい子」「たくましい子」と押さえ、全教育活動を行っていきます。そして、本年度は、それぞれの子供像の具体的な姿を、以下のように設定しました。



「やさしい子」の具体的な子供の姿

- ・自分のよさが分かって活動を進め、相手の立場に立って行動する子

「かしこい子」の具体的な子供の姿

- ・主体的に学習に関わり、仲間との学び合いを通して、将来の自分や社会とのつながりを意識して学習する子

「たくましい子」の具体的な子供の姿

- ・目標に向かってチャレンジしたり、粘り強く取り組んだりする子
- ・心と体の健康を考えて行動する子

上記のようなそれぞれの子供の姿が達成できるよう、一年間を4つのステージ（4・5月…スタート期、6～9月…チャレンジ期、10～12月…チェンジ期、1～3月…ステップアップ期）に分け、取り組んでいきます。



また、学校は、このような子供を育てるため、あらゆる授業、行事等を通して、「なりたい自分・よりよい学校地域を思い描き、主体的に考える力を育てる学び」を実現していきたいと考えています。今、学習していることが将来の自分や社会につながっていることを意識させたり、子供たちが主体的に学べるよう環境を整えたりしていきたいと思ひます。

まだまだ、新型コロナウイルス感染症対策は、避けては通れない状況です。最大限にリスクを避けながら、子供たちに充実した活動ができるよう職員全員で知恵を出し合っていきたいと思ひます。そして、保護者・地域の皆様にも御協力いただき、よりよい学校を創っていきたいと思ひます。

校長 西川 正師

令和4年度 日課表

松小074 亀玉小

普通 日課	月	火	水	木	金	特別 日課	特別B 日課
	1年 4時間 2・3年 5時間 4～6年6時間	1・2年 5時間 3～6年6時間	全学年5時間	1・2年 5時間 3～6年6時間 3年:4～9月は5時間	1・2年 5時間 3～6年6時間		
8:00	学級の時間	読み聞かせ 読書	学級の時間 えんタイム	読み聞かせ 読書	さんタイム	8:00	朝の会 8:00 ～8:15
8:15	朝の会					8:15	1校時 8:15 ～9:00
8:25	1校時					8:25	2校時 9:10 ～9:55
～						～	10分休
9:10	2校時					9:10	3校時 10:05 ～10:50
9:20	15分休み					9:20	4校時 11:00 ～11:45
～						～	給食 11:45 ～12:30
10:05	3校時					10:05	昼休み 帰りの会 12:35 ～13:00
10:20	4校時					10:20	5校時 13:00 ～13:45
～						～	6校時 13:55 ～14:40
11:05	給食 (弁当の日:12:00～12:30)					11:05	
11:15	昼休み					11:15	
12:00	清掃 13:15～13:25	(代表委員会)	清掃 13:15～13:25	(代表委員会)	清掃 13:15～13:25	12:00	
12:45	5校時					12:45	
13:10	帰りの会		帰りの会			12:50 ～13:15	
13:15	6校時	6校時	下校14:30	6校時		13:15	
13:25	委員会 クラブ	帰りの会	集団下校 14:45	帰りの会		14:00	
13:35	帰りの会					14:10	
14:20	帰りの会					14:55	
14:30							
15:15							
15:25							

◇帰りの会の時間◇

4時間の日 12:55～13:05
5時間の日 14:20～14:30
6時間の日 15:15～15:25

※特日課の帰りの会は連絡事項のみで昼に実施
(特日)12:55～ (特B)12:40～
※月曜日の1年生は、13:35～13:45
※下校は授業・帰りの会終了後10分後

		前		期							
4月		5月		6月		7月		8月		9月	
テーマ:「スタート」						テーマ:「チャレンジ」					
1	金	1日		1	水	1	金	1	月	1	木
2	土	2日	A(特4) 家庭確認4	2	木	2	土	2	火	2	金
3	日	3日	憲法記念日	3	金	3	日	3	水	3	土
4	月	4日	みどりの日	4	土	4	月	4	木	4	日
5	火	5日	こどもの日	5	日	5	火	5	金	5	月
6	水	6日	A(特4) 家庭確認予備日 教育相談(希望者)	6	月	6	水	6	土	6	火
7	木	7日		7	火	7	木	7	日	7	水
8	金	8日	A[臨3] 学級づくりの日	8	水	8	金	8	月	8	木
9	土	9日		9	木	9	土	9	火	9	金
10	日	10日	B 1年生を迎える会③ 尿検2次	10	金	10	日	10	水	10	土
11	月	11日	B 元氣の日	11	土	11	月	11	木	11	日
12	火	12日	B 教育相談(希望者) 眼科検(全校)13:30	12	日	12	火	12	金	12	月
13	水	13日	B 2~6年給食開始 朝礼 教育相談(希望者)	13	月	13	水	13	土	13	火
14	木	14日	B 通学班長会(昼) P T A 親子奉仕作業 (6年+6年保護者)	14	火	14	木	14	日	14	水
15	金	15日	B[普5] 身体測定(全学年) 代表委員会(昼) PTA総委員会・専門部新旧引継会	15	水	15	金	15	月	15	木
16	土	16日		16	木	16	土	16	火	16	金
17	日	17日	A 耳鼻科検(1-4年)13:00 PTA本部役員会	17	金	17	日	17	水	17	土
18	月	18日	A[普5]委員会活動⑥ 1年給食 心電図(1.4年)	18	土	18	月	18	木	18	日
19	火	19日	A 全国学力調査(国算理質問) 歯科検PM①1・3・5年	19	日	19	火	19	金	19	月
20	水	20日	A 元氣の日 通学班会②・集団下校	20	月	20	水	20	土	20	火
21	木	21日	A 避難訓練 学校運営協議会1	21	火	21	木	21	日	21	水
22	金	22日	A 避難訓練予備日	22	水	22	金	22	月	22	木
23	土	23日	B[普4]参観会、PTA総会 引渡訓練④	23	木	23	土	23	火	23	金
24	日	24日	B スポフェス総練習AM 尿検3次	24	金	24	日	24	水	24	土
25	月	25日	振替休業日 (参観会の振替休業日)	25	土	25	月	25	木	25	日
26	火	26日	B[特4] 家庭確認1 尿検査1次	26	日	26	火	26	金	26	月
27	水	27日	B[特4] 家庭確認2 交通教室AM	27	月	27	水	27	土	27	火
28	木	28日	B[特4] 家庭確認3 交通教室AM	28	火	28	木	28	日	28	水
29	金	29日	昭和の日	29	水	29	金	29	月	29	木
30	土	30日		30	木	30	土	30	火	30	金
31	日	31日	A朝礼(実習生挨拶) 教育実習開始 スポフェス予備日	31	金	31	日	31	水	31	土
16日		19日		22日		15日		2日		20日	
11回		19回		22回		13回		0回		19回	

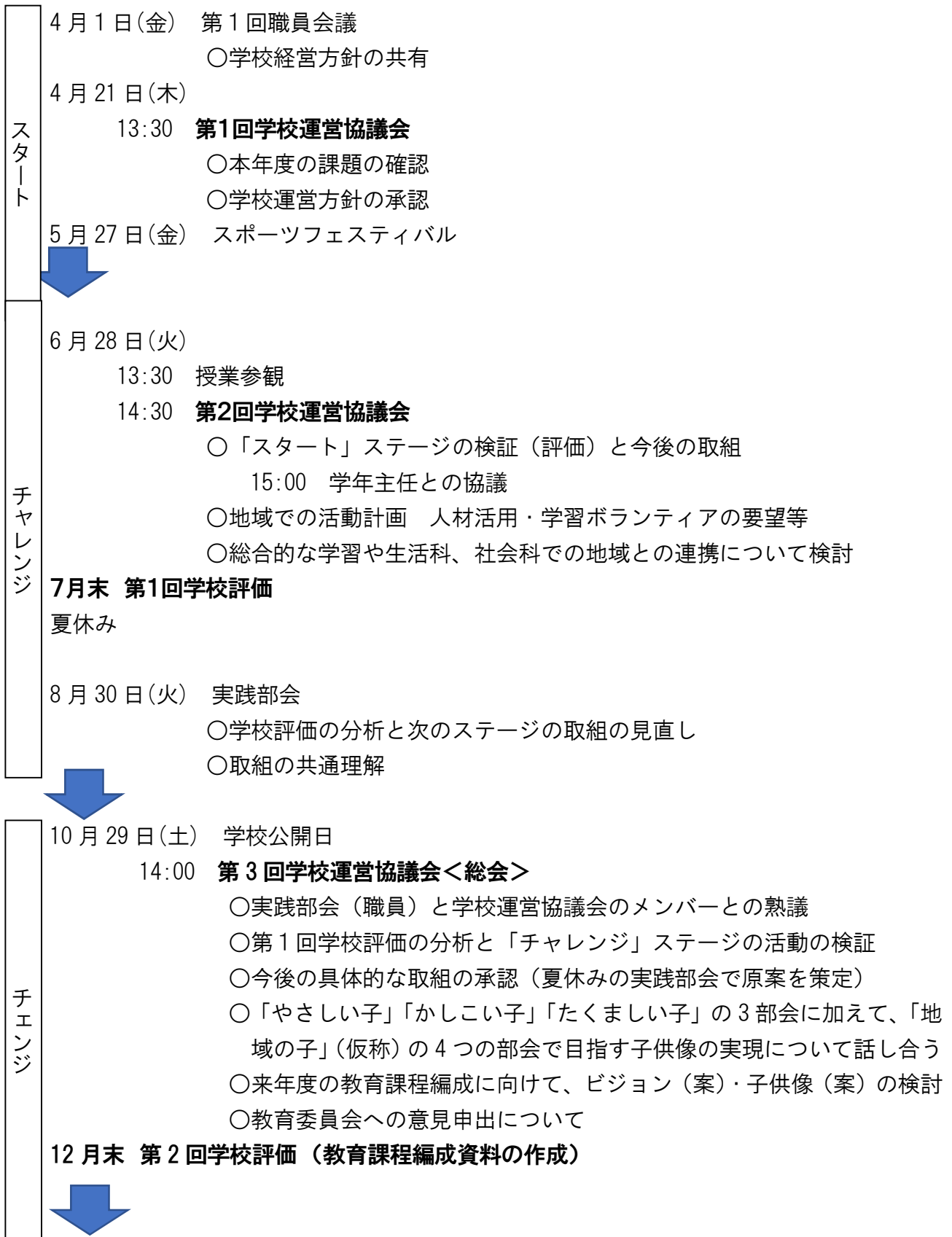
授業日数 200日

4月1日 【亀玉小学校】

※現段階の計画であり、状況により今後変更することもあります。

10月		11月		12月		1月		2月		3月	
テーマ: チェンジ		テーマ: チェンジ		テーマ: チェンジ		テーマ: ステップアップ		テーマ: ステップアップ		テーマ: ステップアップ	
1 土		1 B 火		1 B 水	市音楽研究発表会PM	1 B 日	元日	1 B 水	音楽鑑賞会AM(5年)	1 B[特5] 水	元気の日
2 日		2 B 水	[普4下校13:10]	2 B 金	学校保健委員会	2 B 月		2 B 木	縦割遊び	2 B[特5] 木	施設利用委員会
3 月	B 清掃班長会	3 B 木	文化の日	3 B 土		3 B 火		3 B 金	移動博物館搬出	3 B[特5] 金	6年生を送る会③
4 火	B あらっこフェスタ	4 B 金	元気の日	4 B 日		4 B 水	閉庁日	4 B 土		4 B 土	
5 水	B 元気の日	5 B 土	健全育成会教育講演会 「テレビ寺子屋」	5 A 月		5 B 木		5 B 日		5 B 日	防災週間
6 木	B リング収穫体験(1年)	6 B 日		6 A 火	SGL [普5]クラブ活動4	6 B[臨3] 金	3学期始業式	6 A[普5] 月	委員会活動(引継)	6 A 月	
7 金	B 朝礼	7 A 月	[普5]委員会活動⑥	7 A 水	元気の日	7 B 土		7 A 火	教育相談(希望者)	7 A 火	元気の日
8 土	B PTA資源回収2	8 A 火		8 A 木		8 B 日	防災週間	8 A 水	元気の日	8 A[特5] 水	通学班会⑤ 避難訓練・集団下校
9 日	B PTA資源回収 予備日	9 A 水	[普4下校13:10]	9 A 金	教育相談(希望者)	9 B 月	成人の日	9 A 木	入学説明会	9 A 木	通学班長会(昼) 卒業式総練習②③ 学年会計監査
10 月	B スポーツの日	10 A 木		10 A 土		10 A 火	[普4]委員会活動⑤ 身体測定1年・発達	10 A[特B6] 金	PTA新旧役員打合せ会 PTA総委員会	10 A[特5] 金	ワックス塗り(放課後)
11 火	A 教育相談(希望者)	11 A 金	ひとりひとりに いい声掛けデー	11 A 日		11 B 水	身体測定2年	11 B 土	建国記念の日	11 B 土	
12 水	A[臨3] 部会陸上記録会(四ツ池) ●教育相談(希望者)	12 A 土		12 B[普5] 月	委員会活動⑥	12 A 木	身体測定3年 県定着度調査(仮)	12 B 日		12 B 日	
13 木	A[特6] 教育相談(希望者)	13 PTA 日	ブロック別候補者選出会議	13 B 火	元気の日	13 A 金	身体測定4年	13 B 月		13 B 月	机入れ(朝)
14 金	A 学年(団)会	14 B 火	学年(団)会 PTA第2回指名委員会	14 B 木	通学班会(朝) 集団下校	14 A 土	PTA資源回収3	14 B 日	特技発表会(昼)	14 B 日	
15 土		15 B 水	6年普5	15 B 金	校内持久走記録会	15 B 土	PTA資源回収3予備日	15 B 月		15 B 月	B[特3]
16 日		16 B 木	6年修学旅行	16 B 土	[特6] 持久走予備日	16 A[特6] 月	身体測定5年	16 B 火	子ども音楽鑑賞教室 (5年)	16 B[臨3] 木	修了式 卒業式準備(5年)
17 月		17 B 木	6年修学旅行	17 B 土		17 B[普5]クラブ活動5(3年見学) 火	身体測定6年	17 B 金	あらっこ学習発表会 (参観会) 学校運営協議会4	17 B[臨3] 金	卒業式②③ ●教室移動5年
18 火	B[臨3] ●就学時健診	18 B 金	(6年のみ普4) ●教育相談(希望者)	18 B 日		18 B 水	元気の日	18 B 土		18 B 土	
19 水	B[特B5]	19 B 土	茨北少年科学クラブ 「星を見るつどい」 17:00~21:00運動場・体育館	19 A 月	学年(団)会	19 B 木	1年生4時間授業	19 B 日		19 B 日	
20 木	B 代表委員会(昼)	20 B 日		20 A 火	持久走予備日2	20 B[普5] 金	清掃班長会	20 A[特6] 月		20 A 月	
21 金		21 A 月		21 A 水		21 B 土		21 A[特6] 火		21 A 火	春分の日
22 土	B 市小学校陸上大会	22 A 火	PTA本部役員会	22 A[臨3] 金		22 B 土		22 A[特5] 日		22 A 日	
23 日		23 A 水	勤労感謝の日	23 A[臨3] 金	2学期終業式	23 A 月		23 B 木	天皇誕生日 アレルギー面談 ~3/3	23 B 木	
24 月	A	24 A 木	[普5]クラブ活動3	24 A 土		24 A 火		24 A 金		24 A 金	PTA会計監査
25 火	A	25 A 金		25 A 日		25 A 水		25 A[特B5] 月		25 A 月	
26 水	A	26 B 土		26 B 日		26 A[普5]クラブ活動6(最終) 木	教育相談(希望者)	26 B 日		26 B 日	
27 木	A	27 B 日		27 B 火	閉庁日	27 A[普5] 金	移動博物館搬入	27 B[特5] 月		27 B 月	送別式(仮)
28 金	A	28 B 月		28 B 水	閉庁日	28 B 土		28 B[特5] 火		28 B 火	
29 土	B[臨3] 学校公開日 ●修旅説明会・家庭教育講座 ●(午後)学校運営協議会3(職員)	29 B 火	音楽部壮行会	29 B 木		29 B 日		29 B 日		29 B 日	
30 日		30 B 水	市新学力調査(3・5年)	30 B 金		30 A 月		30 B 月		30 B 月	
31 月	B 振替休業日 (学校公開日の振替)	31 B 土		31 B 日		31 A 火		31 A 日		31 A 日	
日	20日	日	20日	日	17日	日	17日	日	19日	日	13日
給	17回	給	20回	給	15回	給	16回	給	19回	給	1~4年(12日) 10回
					79日				49日		200日

亀玉小学校 コミュニティ・スクール 学校運営協議会計画（案）



1月～ 次年度の教育課程編成

- 職員でビジョンの設定（第2回で検討したビジョンを基にする）
- 「2023 Aratama Plan（グランドデザイン）」の作成
- 各実践部会で、次年度の子供像、具体的な取組を作成
- 目指す子供像を実現するための年間行事計画の作成
- 教育課程冊子の作成

2月17日(金) あらっこ学習発表会

13:30 授業参観

14:30 **第4回学校運営協議会**

- 第2回学校評価の分析
- 「2023 Aratama Plan」（来年度の基本方針）の概要説明
- 次年度の教育課程の説明と検討
- 来年度の課題と具体的な手立ての説明と検討
- 学校関係者評価の実施